



TOP NEWS

# ミャンマー省庁が新法解説へ 7月に訪問、投資・コンドなど

ミャンマーの省庁幹部9人が講演する国際ビジネス会議が7月にシンガポールで開催される。主催者側は、ミャンマーに関するセミナーが頻繁に行われる中で、政策立案者と直接対話できる機会はまれと強調している。間もなくミャンマー国会が可決する予定の新投資法やコンドミニウム法を解説するという。



ヤンゴンとネピドーで5月に開催された第5回会議では50件の覚書が締結された(FRC提供)

会議を開催するのは人材紹介会社フォーリン・リクルートメント・センター(FRC)で、5月にミャンマーを訪問して同様の会議を開催したばかり。

ウィリアム・タン社長は、7月16~17日の「第6回ミ

ヤンゴンとネピドーで5月に開催された第5回会議では50件の覚書が締結された(FRC提供) ミャンマー・ビジネス会議」に200人の参加を目指していると語る。世界の注目が集まるミャンマーの投資関連セミナーが頻繁に開催されているものの、政策に携わる官僚と直接交流できることで差別化を図っていると説明した。

特に7月に国会での可決が予想される新外国投資法と、コンドミニウム法について関心が高いとの認識を示し、資料の配布に盛り込みたいと述べている。新法の成立見込みに合わせて7月に開催時期を設定したと語った。

このほかミャンマー政府が投資を誘致したい分野についても当局の担当者から呼びかけを行う。講演を行う省庁は、国家計画・経済開発省、内務省、建設省、運輸省港湾公社、郵便・通信省、ホテル・観光省、商業省、エネルギー省となる。省庁以外では、中央銀行が為替レートの統一問題について説明するほか、国営造船会社ミャンマが投資機会について講演する。

討論会の場も設けることで、講演者と出席者が直接対話する機会を設けると説明する。参加費用は1人当たり1,480 Sドル(約9万2,000円)。

(次ページへ続く)

NEWS HEADLINE

【経済】ミャンマー省庁が新法解説へ	1	【医薬】サミティヴェ病院が高齢者施設	8
【経済】ニュース速報	2	【車両】日産ティータ、日本生産停止後タイに移管か	8
【経済】5月インフレ率5.0%、前月からやや減速	2	【媒体】博報堂、HCM市に2拠点目の新会社設立	9
【金融】金融庁、タイ中銀と外貨融通で覚書締結	3	【公益】泰発電公団、ミャンマー事業は100億ドル規模	9
【経済】地場企業の海外M & A増、強いSドル背景	3	【農水】日本向け粗糖輸出、関税半減を要望へ	9
【IT】携帯アプリ開発者育成制度、外資5社が参加	3	【農水】パナナ業界に新勢力参入	10
【金融】株価続落、寝具オッシーノは4.8%安	4	<b>インド情報</b>	
【建設】不動産最大手トップ退任、後任は社内昇格か	4	【IT】インフォシス、名古屋に営業拠点を設置	10
【建設】工業団地の不当利用、当局が警告を強化	4	<b>特集</b>	
【運輸】MRT事故報告、環状線は送電線不良で不通	5	【BTMU為替情報】2012/6/25	12
【観光】地場ツアー旅行業界、下期は逆風に直面か	5	【この人】池下謙治さん ジェトロK.L所長	13
【労働】スリランカ人メイド雇用、来年に3割増へ	5	<b>マーケット情報、その他</b>	
【車両】デンソー138億申告漏れ、子会社の配当めぐり	6	商品市況	14
<b>ASEAN情報</b>		クロスレート	14
【IT】ネットマークス、4割増収目標	6	マーケット情報 為替と株式	15
【IT】携帯端末の広告掲載、前年2倍の270億回	7	各地のコラム	16
【食品】PPB、星ウィルマー系の中国食品企業に出資	7		
【運輸】エアアジアX、中国・北京便の運航を開始	7		

## 覚書 50 件締結

5 月に首都ネピドーや最大都市ヤンゴンで開催した前回会議に参加した企業は、シンガポールやマレーシア、インド、欧米を中心とした 130 社。5 日間の期間中に 50 件程度の覚書が調印されたと明らかにしている。ただシンガポールの会議には、ミャンマー企業が参加しないために覚書の調印は行わないという。

ミャンマーで調印された覚書については公表していないものの、マレーシア企業による航空貨物事業や、ココナツ加工事業、オーストラリアの私立大学による教育機関の設立などへの関心が表明されている。

同社長は、第 1 回会議を 1995 年に開催。第 4 回まで順調に開催した後で、軍事政権が「市場を閉じた」ために開催を延期。今年 5 月に 14 年ぶりとなる第 5 回会議を開催していた。この間に、建設現場などで働く労働者をミャンマーからシンガポールやマレーシアに派遣する事業を手掛け、タン社長は毎月のようにミャンマーを訪問していた。

現在の閣僚の中には、14 年前に知己を得てその後連絡が途絶えていた人物もあり、相手が過去の交流を覚えていたことに驚いているという。

今後は日本でもミャンマー関連の事業を模索したいと表明している。

## ニュース速報

### S I A の貨物部門、中国企業と合併事業開始

シンガポール航空 (S I A) の貨物部門 S I A カーゴは 25 日、中国東方航空傘下の航空貨物会社である中

国貨運航空と共同の貨物運搬サービスを開始すると発表した。26 日から操業を開始し、シンガポールと中国・上海を結ぶ。S I A カーゴは中国貨運航空の株式 16% を所有しており、両社は 2010 年に合併事業の設立について合意していた。

## 【シンガポール - 経済】

### 5 月インフレ率 5.0%、前月からやや減速

統計局が 25 日発表した 5 月の消費者物価指数 (C P I) は前年同月比 5.0% 上昇の 112.8 となり、前月の 5.4% から 0.4 ポイント減速した。ただ、住宅価格と運輸コストの高騰により、依然として高い水準を維持している。前月比 (季節調整済み) は 0.2% 上昇だった。

ロイター通信がまとめたエコノミストの事前予想は前年同月比 5.1% 上昇で、実際は予想をわずかに下回った。

全 7 項目が前年同期比で上昇した。最も上昇率が大きかったのは運輸で 9.2% 上昇。前月の 7.5% 上昇から 1.7 ポイント加速し、年初 5 カ月で最大の伸びを記録した。インフレ率を大きく左右する住宅も 8.2% 上昇した。住居費が 9.0%、光熱費が 9.1% 上昇している。

食品は前月からほぼ横ばいの 2.5% 上昇だった。魚介類や乳製品・卵などは 4% 台の伸び率となった。教育・文具 (3.6% 上昇)、医療 (4.3% 上昇)、娯楽・その他

(1.6%) も前月から横ばい。衣料品・靴は 0.4% 上昇で前月から伸び幅が縮小した。

金融管理庁 (M A S) が発表したコアインフレ率 (運輸や住宅など、政府の政策の影響を受けやすい項目を除外したインフレ率) は前年同月比 2.7% 上昇、前月比は 0.1% 低下した。

#### 5 月 C P I の騰落率

品目	(単位は%、▲は減)	
	前年同月比	前月比
食品	2.5	0.1
衣料品・靴	0.4	▲ 1.5
住宅	8.2	0.4
運輸	9.2	1.0
通信	—	▲ 0.1
教育・文具	3.6	—
医療	4.3	▲ 0.2
娯楽・その他	1.6	▲ 0.3
全体	5.0	0.2

統計局資料

## PHOTO NEWS



マニラ動物園で飼育される「マリ」。タイへの移送を求める声が高まっている = フィリピン(インクワイラー)

## TAKE OFF

猛暑日が続いている。地元の紙によると、ここ数週間の最高気温はセ氏 34 度に達し、9 8 5 年 6 月に記録した史上最高気温の 35 度に並ぶ勢いだという。だが紙面上の東部イーストコーストパークで海水浴をする少年や、北部センバワン地区にわき出る温泉を浴びるおじいちゃんの写真は、むしろ暑さを楽しんでいるようにも見える。

なるほど、エアコンが効いた室内でくつろぐのもいいが、外に出て思い切り汗をかくのも気分がいいだろう。そう考え、中学校の部活動以来のテニス始めた。白球を追ってコート駆け回り、悩みや心配事を汗で洗い流したら、さっぱりとした気持ちになった。

2 時間も動けば T シャツから下着まで汗で水浸し。そうして渴いたのに流し込む冷たい飲み物は格別だった。これを機に、暑さを避けてエアコンに依存した生活を見直したいと思う。(虎)

## 【シンガポール - 金融】

**金融庁、タイ中銀と外貨融通で覚書締結**

金融管理庁(MAS)は25日、タイ中央銀行(BOT)との間で相互的通貨協定を締結したと発表した。

シンガポール・タイ両国で運営している金融機関は、それぞれの運営国の政府・通貨監督機関を通して外貨を融通し合うことで合意した。

MASとBOTは、今回の覚書締結により両国の監督機関は通貨流動性の管理について柔軟に対応できるようになったと説明した。BOTのプラサーン総裁は「(合意を通じて)両国の中央銀行は一層緊密な関係を作ることができた」と指摘。MAS

のラビ・メノン長官も「金融市場への圧力が高まっている中での覚書締結は、通貨流動性を確保すると同時に、財政の安定性増進にもつながる。ひいては両国の経済関係を深化させることにもなる」と話した。

## 【シンガポール - 経済】

**地場企業の海外M&A増、強いSドル背景**

地場企業による海外企業へのM&A(合併・買収)は、強いシンガポールドルを背景に取引額を拡大しており、年初6カ月では前年同期比55.5%増の128億米ドル(約1兆300億円)に達していることが、英トムソン・ロイターの統計で明らかになった。25日付ビジネス・タイムズが報じた。

直近のピークだった2007年下半期の水準に並んだ。今年上期の取引額のうち、75%の96億米ドル分は4~6月期に成約した。今年4月の金

融機関最大手DBSグループ・ホールディングスによるインドネシアのダナモン銀行の買収発表が大きく貢献したもようだ。

トムソン・ロイターのシニアアナリスト、エレイン・タン氏は「年初からシンガポールの海外企業買収が加速した。中でもインドネシアで取引件数、取引額ともに盛んだ」と話す。インドネシアとの取引件数はこれまでに21件、取引額は86億米ドルだった。中国や東南アジアの他の新興市場でもM&Aを積極展開

しているという。海外企業によるシンガポール企業買収などを含めた1~6月期のクロスボーダー取引は、前年同期比17.6%増の148億米ドルだった。

一方、シンガポール企業がかかわった4~6月期のM&A取引件数は167件で、前期の213件から減少している。ただ取引額は08年1~3月期以来の高い水準となり、前年同期比0.6%増の163億米ドルだった。

## 【シンガポール - IT】

**携帯アプリ開発者育成制度、外資5社が参加**

情報通信開発庁(IDA)が主導する携帯端末向けアプリケーション開発者育成策「アンプリファイ(AMPLIFY)」で、新たに情報通信技術(ICT)関連の外資系企業5社が参加する。22日付ビジネス・タイムズが伝えた。

追加で加わるのは米IBM、モトローラ、韓国・サムスン電子、台湾

のHTC、独SAPの5社。アンプリファイの一環として、シンガポールの情報通信技術者に最新技術やノウハウを伝え、開発したアプリケーションを各社のプラットフォームで展開する機会も提供する。IDAは300万Sドル(約1億9,000万円)を予算に割いている。これまでに開発技術者40人以上に育成支援を施

しており、今後1年でさらに150人の学生に研修を施す。

アンプリファイは2010年に導入された。米グーグル、マイクロソフト、フィンランドのノキア、カナダのリサーチ・イン・モーション(RIM)の4社がパートナー企業として参加している。



## 【シンガポール - 金融】

**株価続落、寝具オッシーノは 4.8% 安**

【株式】25 日の株式相場は続落。S T 指数の終値は前営業日比 12.85 ポイント (0.45%) 安の 2815.26 で引けた。

衣料・寝具販売のオッシーノ・グループは 4.79% 安の 0.16 S ドル (約 10 円) で取引を終えた。同社が先週ミャンマーのガソリン小売事業に参入する計画を発表して以来、株価は約 97% も急騰した。しかし、関係筋によると同社が買収を計画しているマックス・ストラテジック・イ

ンベストメンツは米国のブラックリストに載っているミャンマーのビジネスマンと関連があり、当局は問題のある人物がオーナーや経営者である企業を上場させることに疑問を抱いている。

【為替】25 日の外国為替市場でシンガポールドルは続落。午後 6 時時点で前営業日比 0.37% 安の 1 米ドル = 1.2822 S ドル (約 80 円 14 銭) だった。

ロイター通信によると、アジア通

貨市場は総じて軟調。今週の欧州連合 (EU) 首脳会議を控え、具体的な債務危機対策で合意できるかどうかの懸念から、リスク回避志向が強まっている。メイバンクの為替リサーチ担当責任者、サクティアンディ・スパート氏はアジア通貨について「EU 首脳会議を控え、慎重モードの中レンジ取引が続く公算が大きい」との見方を示した。

## 【シンガポール - 建設】

**不動産最大手トップ退任、後任は社内昇格か**

不動産開発大手の政府系キャピタランドが社長兼最高経営責任者 (CEO) を 16 年務めたリユー・ムンリオン氏の 1 年後の退任を発表したことで、早くも後任人事に注目が集まっている。社内外から探すと発表しているものの、社内から昇格する可能性が高いという。

ビジネス・タイムズによると、複数の業界関係者の意見としてリム・ミンヤン最高執行責任者 (COO)

が最右翼という。現在のキャピタランドの経営方針や内容を熟知していること、9 年間にわたって同社の中国事業を担当し、同国での地盤を固めた手腕が評価されていることなどが背景にある。中国事業は同社の売上高の 38% を占めており、同国が現在グループ最大の市場となっている。

リユー・ムンリオン社長は自身の後任について「外部からではなく、

グループ内部から発掘する」と語っており、すでに数人まで絞り込み、「適切な時期が来たら取締役会に提案したい」と述べている。後任社長は向こう 3 ~ 6 カ月以内に内定するとみられる。

リユー・ムンリオン氏は 22 日、67 歳を迎える来年 6 月 28 日に退任すると発表した。ただし引退はしない意向を示しており、「別のキャリアを追求したい」と話している。

## 【シンガポール - 建設】

**工業団地の不当利用、当局が警告を強化**

都市再開発庁 (URA) と不動産業者を管理・監視する法定機関の不動産業者評議会 (CEA) は、工業団地の入居募集広告に不当な内容を記載した不動産業者への警告を強化する方針を示した。ストレーツ・タイムズが報じた。

CEA は今年に入り、不動産業者 32 社への調査を実施し、このうち 23 社に対し「工業団地の施設入居条件を確認せず、誤った広告で入居を募集した」として警告文を発行している。URA も工業団地の利用につい

て目を光らせており、西部アレクサンドラロードのアレクシアなど、複数カ所の入居者に対して猶予つきの利用停止命令を出している。

国内の工業団地では最近、賃料が商業施設より安いことから学習塾や小売店が入居。結果として入居費全体を押し上げて、工場や倉庫などともとの入居者から問題視する声が上がっていた。URA の基準によると、工業団地の 6 割以上の面積を工業あるいは倉庫・保管に用いること

不動産業者が入居者を誤った広告で勧誘した場合、業者は CEA の倫理規定に抵触することとなり、7 万 5,000 S ドル (約 470 万円) の罰金と不動産事業者免許の差し止めのいずれかあるいは両方が科され、悪質な場合は免許のはく奪処分となる。また、URA も猶予期間内に不当な利用をやめない入居者に対しては、罰則として最高 20 万 S ドルの罰金と 1 年以内の懲役刑のいずれかあるいは両方を科すという。

## 【シンガポール - 運輸】

**MRT 事故報告、環状線は送電線不良で不通**

陸上交通庁(LTA)は、昨年9月20日に発生したMRT(地下鉄・高架鉄道)サークルライン(環状線)の故障事故について、送電線の故障が原因とする調査結果を発表した。事故では利用客2万7,000人の足に影響が出ていた。

調査報告書によると、故障はMRTダコタ駅付近の送電線が不良品だったことに起因していた。さらに送電線が敷設された側溝に水がたまっ

ていたことで被害が拡大したとまとめた。ビジネス・タイムズによると、一部の建設工事を請け負った仏電機大手アルストムが問題となった送電線の交換と点検、ならびに周辺の送電線で「不具合の危険性のある箇所」の交換を実施しており、交換費用は同社が負担している。アルストムはこれまでにコメントを出していない。

LTAはまた、MRT環状線を運

営するSMRTについて「問題となった送電線についての責任はない」として罰則は科さないことも明らかにした。

このほか、LTAが送電線の品質点検を今後3カ月ごとに実施するほか、SMRTが送電線の絶縁試験や側溝の点検をより頻繁に実施するほか、将来的には両者共同での送電線検査を実施できる体制作りを目指すという。

## 【シンガポール - 観光】

**地場ツアー旅行業界、下期は逆風に直面か**

消費者意識の変化やオンラインの競合他社の出現により、地場のツアーを主体とする旅行会社各社は今年下期にかけて逆風に見舞われそうだ。ビジネス・タイムズが報じた。

これまで売上高の大半を占めていたパッケージツアーを敬遠し、時間や行き先を旅行者自身で決められる「フリー&イージー」と呼ばれるフリープランを利用する消費者が増えている。また、航空券や滞在先をパソコンや携帯電話を通じて申し込めるオンライン旅行会社が増えていることも足を引っ張る要因となっている。

地場シティーサイズ・トラベルのエローン・チャン営業部長は「消費者の間でエコツアーや冒険ツアーのような、個人の興味や好みに応じた旅行プランが増えている。個人の生活水準や多様性を反映した内容となっている」と指摘した。

旅行各社は今年上半期、比較的好調な滑り出しを見せていた。2月に開催された国内最大の旅行フェア「NATASトラベル2012」では、期間中の成約額が前年比10%増の1億5ドル(約63億円)となっている。地場ASAトラベルによると、

上半期は売上高も前年同期比3割増だったが、景気の先行き不透明感から、7~9月期の予約状況は鈍化しているという。

地場大手旅行代理店コモンウェルス・トラベル・コーポレーション・サービスズ(CTCトラベル)は先ごろ、経済の見通しが不安定なことを理由に、オンライン旅行代理店MISAトラベルとの合併やパーク・リージェス・シンガポール買収を一時保留すると発表していた。

## 【シンガポール - 労働】

**スリランカ人メイド雇用、来年に3割増へ**

地場メイドあっせん業者は、スリランカからのメイド雇用拡大を狙っている。現行の4,500人から約3割増やすと見込まれており、規制緩和や労働環境の改善が背景にある。25日付ストレート・タイムズが伝えた。

スリランカ高等弁務官事務所は先ごろ、シンガポール雇用エージェント協会(AEAS)とスリランカ海外労働局の各代表者間でメイドの雇用条件について協議する場を設けることを明らかにした。同事務所は、シンガポールで働くスリランカ人のメイドが来年には6,000人になると見通している。

入国時に外国人メイドに課されて

いた英語試験が昨年廃止されたことや、スリランカ海外労働局がシンガポールで働く同国のメイドの最低賃金を来月1日から約2割増の400Sドル(約2万5,000円)に引き上げると発表したことで、スリランカ人メイドの供給が進むと見られる。また雇用方式の改定によりインドネシア人メイドの供給が滞っていることから、メイドあっせん業者がスリランカからの人材で不足分を補う動きがあるという。

メイドの出身国で最も多いのがインドネシア(10万3,000人)でフィリピン(7万人)、インド(1万5,000人)、ミャンマー(1万人)が続き、

スリランカは5番目(4,500人)となっている。約10年前には国内で7,000人のスリランカ人メイドが働いていたが、同国の景気向上やシンガポールのあっせん業者への手数料が高額であることから近年減少傾向にあった。

在シンガポール・インドネシア大使館は先月、同国のメイドがインドネシアのあっせん業者に対して支払っていた手数料を廃止。そのためインドネシアのあっせん業者からシンガポール業者に対して高額料金を請求する事例が発生し、インドネシアからのメイド雇い入れを控える動きが出ているという。

## 【シンガポール - 車両】

## デンソー 138 億申告漏れ、子会社の配当めぐり

【共同】自動車部品メーカー最大手デンソーは 25 日、アジアにある孫会社から配当を受けたシンガポールの子会社をめぐり、名古屋国税局から 22 日に約 138 億円の申告漏れの指摘を受けたと発表した。追徴税額は約 61 億円で、25 日に納付した。

名古屋国税局は 2011 年 3 月期までの 2 年間について子会社の利益をデンソーの所得と認定した。シンガ

ポール子会社がタックスヘイブン (租税回避地) 対策税制の適用除外要件を満たしていないと判断した。

デンソーは「シンガポール子会社はアジア地域などの財務や物流の統括機能を持ち、事業実態がある」と反論し、異議を申し立てる方針。

国税庁は日本での課税を避けようと低税率の国に子会社を設立する企業への対策で、タックスヘイブン対

策税制を設けている。海外で事業展開の実態や経済的な合理性があれば適用は除外される。

名古屋国税局はこのシンガポール子会社をめぐり、10 年にもデンソーに対し約 114 億円の申告漏れを指摘し、約 12 億円を追徴課税した。デンソーは 11 年に処分取り消しを求め、名古屋地裁に提訴した。

## ASEAN 情報

## 【インドネシア - IT】

## ネットマークス、4 割増収目標

## 支援体制強化や増員で達成

日本ユニシスの完全子会社で、ネットワークシステムの設計・販売・施工・運用管理を手掛けるネットマークス (東京都江東区) は、インドネシアで事業規模の拡大を図る。日系企業の進出増に合わせてサポートオフィスの設置を始めたほか、非日系顧客の獲得に本腰を入れる。現地のパートナー企業との連携も生かしながら事業基盤を固め、2014 年には 11 年比で 4 割増となる 700 万米ドル (約 5 億 6,000 万円) の売上高を目指す。

ネットマークスはインドネシア法人のネットマークス・インドネシアを通じ、ジャカルタに本社、東ジャワ州スラバヤに支店を置き、ジャカルタでは日系企業、スラバヤでは現地企業を中心に通信環境を構築し、保守・サポートしている。

自動車部品のサプライヤーを中心に日系企業のインドネシア進出が続いているため、今年から新たに顧客の支援体制を強化するための「サポートオフィス」の設置を開始した。まず 1 月にジャカルタ東部近郊の西ジャワ州ブカシ県チカランの高速道路付近に 1 カ所目を設置。年内にはチカンベックにも同様の拠点を設ける計画だ。

現法のタオフィック取締役は「ジャカルタの東部に点在する工業団地では日系企業の進出が加速しているため、サポートオフィスを置くことにした」と語った。周辺の工場団地に入居する顧客企業に対するネットワーク関連のサポートを迅速に提供するのが狙いと説明した。

来年以降はバンテン州タンゲランやチレゴン、スカルノ・ハッタ国際空港といった首都西部に位置する地域にも順次、設置する考えを明らかにしたほか、西ジャワ州カラワン県に建設する計画が持ち上がっている新空港での拠点設置にも意欲を示した。

サポートオフィスの開設に合わせてエンジニアを中心に増員する。従業員数は現在の約 50 人から、年内に

60 人、来年には 70 人となる見通し。特に顧客企業に常駐するアウトソーシング (外務委託) 人材の需要増に因應する。

## 政府機関から大型案件狙う

主要顧客である日系企業のほか、非日系顧客の案件を増やすことによる事業の拡大計画も進めている。現在は日系が 8 割、残りがそれ以外だが、今後は日系、非日系の割合を半々にしたい考え。特に大型案件の受注が見込める政府機関からの案件獲得に向け、営業スタッフを増強する計画だ。

このほかにも現法の共同出資社であるインフォマシ・ネット・マルキンドが現地で展開するグループ企業のネットワークを活用して収益を引き上げる。グループ会社のインフォニス・システム・インドネシアは、インターネットのプロバイダー (接続業者) であるほか、ネットワーク経由でソフトなどを利用するクラウドコンピューティングのサービスを提供している。ネットマークスの持つ通信環境の販売・保守と組み合わせ、顧客に最適な IT ソリューションを提案することで受注増を図っている。

一連の方策を通じ、14 年には売上高を 11 年の 500 万米ドルから 2 ~ 4 割増、10 年の 300 万米ドルからは 2 ~ 2.3 倍となる 600 万 ~ 700 万米ドルへと大幅に引き上げたい考えだ。今年の目標は前年比 10% 増の 550 万米ドル。

ネットマークスの国際事業部でインドネシア、マレーシア、シンガポールを担当する田川禎氏は「インドネシアは海外最大の拠点であるタイに比べると売上高で 2 倍の差がある。ただ、市場の成長の余地が大きいので追い付くことができると思っている」と期待感を示した。

## 【インドネシア - IT】

## 携帯端末の広告掲載、前年2倍の270億回

インドネシアで携帯端末の広告掲載回数が急増している。今年3～5月は270億回となり、前年同期と比べて約2倍に達した。特に米グーグルの基本ソフト(OS)「アンドロイド」を搭載するスマートフォン(多機能携帯電話)への出稿の伸びが大きかった。

インドの携帯電話向け広告業大手インモビ(InMobi)の調査によると、OS別のインプレッション(広告が表示された回数)は、フィンランドのノキアの「ノキアOS」が90億回で首位。これと同じくノキアの「シ

ンピアンOS」が61億回、アンドロイドの26億回が続いた。カナダのリサーチ・イン・モーション(RIM)や米アップルを含むその他のOSは93億回だった。

伸び率ではアンドロイドが前年同期比8.3ポイント上昇してトップ。シェアは9.7%に拡大した。ノキアは「ノキアOS」がシェア33.4%、「シンピアンOS」が22.5%を占めたが、それぞれ1.0ポイント、5.3ポイント低下した。その他も14.6ポイント下げ、シェアを大きく落とした。

メーカー別では、ノキア(シェア56%)がトップを維持。前年同期比8.9ポイント上昇のサムスン電子(12%)が2位につけた。3位はソニーエリクソン(11%)だった。このほかRIMは4%、アップルは3%にとどまった。

ファルゲン・ラジュ地域統括マネジャー(東南アジア、香港、台湾担当)は、低価格帯のスマホの普及が進んでいることがアンドロイド躍進の背景にあると説明した。

## 【マレーシア - 食品】

## PPB、星ウィルマー系の中国食品企業に出資

製粉・飼料製販を主要事業とするPPBグループは22日、シンガポールのパーム油大手、ウィルマー・インターナショナルから、同社が中国江蘇省昆山市に持つ、益海嘉里集団傘下の益海嘉里(昆山)食品工業の株式20%を取得すると発表した。

PPB傘下の製粉会社FFMが100%を出資する投資会社ワイカリ

を通じて、ウィルマーがシンガポールに設立した投資会社、ウィルマー・チャイナ・ニュー・インベストメンツから取得する。買収額は1,029万9,700米ドル(約8億2,500万円)。また株主融資として最高1,018万4,000米ドルを拠出する可能性があり、この場合、支出額は最大で2,048万3,700米ドルにまで拡

大するという。

買収後の益海嘉里(昆山)に対する出資比率は、ウィルマー・チャイナが80%、ワイカリが20%となる。

FFMとウィルマーは2012年12月に今回の取引について合意していた。

## 【マレーシア - 運輸】

## エアアジアX、中国・北京便の運航を開始

格安航空エアアジアの長距離部門エアアジアXは25日、クアラルンプール(KL)～中国・北京便の運航を開始したと発表した。中国では7都市目の就航となる。23日にKLを出発した第1便の搭乗率は90%に達したという。

KL発は午後6時45分(翌日午前0時50分着)、北京発は午前2時5分(午前8時30分着)。当初はKL

発は水、金、土、日、北京発は月、木、土、日の週4便を運航するが、8月6日からは1日1便に増便する。

同社はこれに合わせ、就航記念キャンペーンも実施する。エコノミークラスを片道349リンギ(888人民元、約8,741円)、ビジネスクラスも1,149リンギ(2,599人民元)で提供する。予約期間は今月28日までで、

搭乗期間は8月6日～11月30日となる。

同社のアズラン・オスマン・ラニ最高経営責任者(CEO)は声明で「今後3カ月で80%の搭乗率を目指す」と目標を明らかにした。エアアジアは中国ではこれまでに杭州、成都、広州、深セン、重慶、桂林に就航している。

自動車産業シリーズ

調査・編集/工業調査研究所

インド自動車(四輪車・三輪車・二輪車)産業2012





## 【タイ - 医療】

# サミティヴェ病院が高齢者施設

## 年内に専用棟着工へ

私立サミティヴェ病院は高齢者・介護事業を新たに展開する。8月に23室の専用フロアを開設。さらに今年末までに専用棟を着工する計画で、利用者の半数は日本人を見込む。バンコクで日本人患者を最も多く受け入れている同病院のノウハウを新事業に生かす考えだ。

バンコク近郊にあるサミティヴェ・シーナカリン病院11階に「ホーム・バイ・サミティヴェ」のコンセプトで高齢者用フロアを開設する。同院には、温水プールを含むリハビリ専門センター（500平方メートル）があり、これまでも外来・入院リハビリを受け付けていた。

タイで日本人患者数が一番多い都内のサミティヴェ・スクンビット病院で、毎日平均300人の日本人をケアしているノウハウを新事業に生かす。日本の介護ビジネス企業との提携を検討しており、料金設定などの詳細を詰めている段階だ。

また、年内にも本格的な高齢者・介護用の低層専用棟をシーナカリン病院内に建設する予定だ。個室数は明らかにしていないが、100室以上の規模となるようで、半分は日本人の利用を見込む。タイ在住日本人で高齢の両親を呼び寄せるケースや、以前タイに居住しタイ人のホスピタリティーの良さを知っている人などを想定している。

サービスアパートのような形式にする短期滞在や日本の寒い時期だけを過ごす避寒ステイなど、介護施設としての利用に限らず、様々なライフスタイルを高齢者向

けに提案するとみられている。

### 他病院でも着々

バンコク都内では大手私立病院のタイ人富裕層や外国人向けの高齢者ビジネスへの参入が相次いでいる。

美容整形で知られるヤンヒー総合病院では、21室ある高齢者用個室を来月には28室へと増やす。利用料は食事付きで1カ月9万3,200バーツ（約23万6,000円）。

ウェチャタニ病院も介護専用棟の建設を検討中だ。同病院は日本人高齢者向けの事業を先月に開始したばかり。サービスアパートメントの20室を利用して介護施設・社員寮運営のリエイ（千葉県浦安市）のタイ法人と協業している。個室・食事代込みで月額7万バーツに設定した。

そのリエイはヘルパー派遣事業を在タイ日本人やタイ人富裕層向けにも始める計画だ。タイでは、「家庭でケアする」という意識が強く、「介護施設よりも派遣の需要が大きい」とみている。実際、バンコク都内の民間の安い介護施設でも月額2万～3万5,000バーツするが、ヘルパーの派遣は約1万5,000バーツと大卒初任給程度で済む。

外国では日本の介護保険が適用されないため、低価格を武器に日本人を勧誘することはほとんどないと思われる。それだけにサミティヴェの事業の行方は各方面からも注目されそうだ。

## 【タイ - 車両】

# 日産ティータ、日本生産停止後タイに移管か

日産自動車は、追浜工場（神奈川県横須賀市）の生産ライン2本のうち「ティータラティオ」など4車種を生産している1本の稼働を7月下旬に停止する。タイに生産移管すると報じられていることについて、タイ日産自動車（NMT）の木村隆之社長はNNAに対し、「追浜工場の1ライン停止は確かだが、生産拠点の変更などについては（現時点では）コメントできない。決まり次第公表する」と述べた。

ティータラティオを現在タイで生産する小型セダンと統合する、との

報道については、「将来の車種統合（商品戦略）についても公表できない」とした。同社は現在、バンコク東郊サムットプラカン県の工場で、エコカー「アルメーラ」「マーチ」小型車「ティータ」、ティータラティオなどを生産している。

このうち2010年3月にタイ生産を開始したマーチは、同年7月に日本への輸出を開始。「逆輸入モデル」の第1弾となった。

タイ工場の年産能力は現在22万台。このほか、今年4月からミツビシ・モーターズ・タイランド（MM

Th）への1トンピックアップトラック「ナバラ」の生産委託（6万台）を開始している。ナバラを外部生産としたことで、NMTの工場は「乗用車に集中し、生産効率を上げることができる」としている。

NMTの木村社長は、生産移管や輸出開始時期などについて明確な回答は避けたが、「（タイ工場は）グローバル全体の会社戦略に基づき、いつでも対応できるように準備している」と続けた。



## 【ベトナム - 媒体】

**博報堂、HCM市に2拠点目の新会社設立**

博報堂(東京都港区)は25日、ホーチミン市に2拠点目の新会社「博報堂ベトナム」を設立し、来月2日より営業を開始すると発表した。

新会社は、ホーチミン市1区レロイ通りの大型複合施設「サイゴンセンター」に入居。資本金は150万米ドル(約1億2,000万円)で、博報堂が全額出資する東南アジア諸国連合(ASEAN)地域統括会社、博報堂アジアパシフィック(タイ・バンコク)が80%出資する。このほか、ソフト・印刷関係企業、広告会社など22社を傘下に持つ政府系持株会社Saigon Cultural Products Corporation(ホーチミン市)、ベトナム初のメディア調査を行うなどの

実績を持つ市場調査・マーケティング会社Truong Doan Marketing Group(ホーチミン市)がそれぞれ10%出資する。当初の社員数は12人の予定。

博報堂のベトナム拠点は、2002年に博報堂が65%、Saigon Cultural Products Corporationが35%出資した「博報堂SAC(Hakuhodo & Saigon Advertising)」(ホーチミン市)に続いて2拠点目。広報担当者によると、欧米やアジアなど日本以外の広告業界では「1業種1社」が原則。例えば、ある広告会社がAという自動車メーカーを顧客に持っている、Bなど他の自動車メーカーを顧客にすることはできない。この

ため、系列の広告会社を複数用意し、グループ内で同業種の異なる企業を顧客に持てるようにする。博報堂は2拠点体制にすることにより、日系企業を中心に営業を強化する狙いだ。

博報堂DYグループは、2014年3月期を最終年度とする5カ年の中期経営計画で、グループ全体の海外売上高を10年3月期の実績253億4,700万円から2倍強に拡大する方針を掲げている。なお、同グループの12年3月期の海外売上高は379億1,500万円で、連結売上高に占める海外の割合は3.9%だった。

## 【ミャンマー - 公益】

**泰発電公団、ミャンマー事業は100億ドル規模**

タイのアラック・エネルギー相は、タイ発電公団(EGAT)の国際部門EGATインターナショナルが、ミャンマーで計105億米ドル(約8,000億円)規模の水力発電所建設に参画することを明らかにした。ミャンマーのインフラ整備を支援すると同時に、水力発電による低コストの電力をタイに供給する狙い。25日付タイ紙クルンテープ・トゥラキットが報じた。

ミャンマー当局との話し合いで迅速な計画推実施を求められたとして、同国のハッチとマイトンの両水力発電所建設計画を推進する。同プロジェクトは、ミャンマー国内の少数民族による反対活動が活発化したことや、タイの環境保護団体からの反対が高まったことから、2010年に一時中断していた。

ハッチの発電能力は600メガワット(MW)で、投資総額は15億米ド

ル。EGATインターが36%の株式を取得する。発電分の9割をタイに供給する。マイトンは、7,000MWの発電能力を持つ水力発電所をサルウィン川上流に建設する予定。総事業費は90億米ドルで、EGATインターのほか、ミャンマーと中国が30%ずつ出資する。現在は建設候補地の選定と事業化調査を実施している。

## 【フィリピン - 農水】

**日本向け粗糖輸出、関税半減を要望へ**

砂糖統制局(SRA)は、日本向けの粗糖輸出拡大に向け、日比経済連携協定(JPEPA)に基づく関税引き下げ交渉を積極的に進める方針を示している。25日付マニラプレティンが伝えた。

2008年12月に発効したJPEPAでは、フィリピンから日本への粗糖を輸出する際の関税について、「協

定発効後4年目再協議」と定めている。SRAのコルプス調査部長は、今年12月に迎えるJPEPA発効後4年目を前に、日本政府に対して、現在の関税の半分程度まで引き下げを求める意向を示した。

今シーズン(昨年9月~今年8月)の粗糖生産量は、今月10日現在で222万9,000トンとなっており、生

産目標の224万2,000トンに対して99.4%に達している。最終的な生産量は223万~224万トンに及ぶと見込まれている。生産量の7~8割程度は国内で消費し、残りを輸出に割り当てる方針。ただし、米国向けの輸出割り当て20万4,367トンは確保しているものの、それ以外の輸出先の確保が課題となっている。

## 【フィリピン - 農水】

# バナナ業界に新勢力参入

## パンギリナン氏、年内に事業始動

有力実業家のマヌエル・パンギリナン氏率いる香港系ファースト・パシフィック（第一太平）が、フィリピンで農業ビジネスに乗り出す。既に確固たる勢力を築き上げている通信、電力、高速道路運営などのインフラ分野に加え、新たにバナナや砂糖事業に本格参入する計画だ。まずバナナ事業から着手するため、年内に農園の取得や流通企業との提携を進める。

ファースト・パシフィックのパンギリナン社長兼最高経営責任者（CEO）はこのほど、フィリピンでバナナ、砂糖関連事業を展開すると明らかにした。

バナナ事業については年内の具体化を目指し、まず生産業者との交渉や国内 1～2カ所の農園買収を計画。さらに輸出を円滑に進めるため、海外の流通業者との提携を模索する考えだ。砂糖分野への進出はバナナ事業が始動した後に検討する。農業分野への進出に必要な投資額などは公表していない。

25日付スターなどによると、フィリピンのバナナ輸出量は南米エクアドルに次いで世界 2 位。昨年の輸出額（速報値）は前年比 47.5% 増の 4 億 7,096 万米ドル（約 377 億 7,600 万円）と大幅に伸び、今年に入ってから 3 月に前年同月比 48.1% 増の 5,115 万米ドルを記録するなど好調に推移している。輸出先は日本が首位で、2 位は中国。政府は現在、中国がバナナの検疫を強化していること受け、カンボジアやシンガポール、ロシア、中東などへの輸出拡大を検討している。

一方で砂糖（粗糖）の昨年の輸出額（速報値）は 3 億

5,430 万米ドルと前年の 9.4 倍に急増。今シーズン（昨年 9 月～今年 8 月）の生産量は 223 万～224 万トンと予想されており、2015～16 年には 286 万トンに達する見通しだ。

パンギリナン社長は農業分野への進出について、「国内総生産（GDP）に占める割合は大きくないが、将来性に期待が持てる」とコメントしている。

### 域内事業を拡大

ファースト・パシフィックは、米国や豪州などの先進国に投資する目的で設立されたが、実際の事業はフィリピン（資産ベースで全体の約 7 割）とインドネシア（同 3 割）に集中。フィリピンでは、3 月 20 日時点で通信最大手フィリピン長距離電話（PLDT）の株式 25.6%、メトロ・パシフィック・インベストメント（MPIC）の同 59.1%、鉱業大手フレックス・マイニングの同 46.3%（関連会社出資分も含む）を保有している。

今後は両国以外での投資拡大を進めるため、特にミャンマーやベトナム、タイ、マレーシアなどに注目。ミャンマーではまもなく同国最大の都市ヤンゴンに駐在員事務所を開設し、水道、配電事業参入の機会を探る方針だ。ベトナムでは水道用水供給事業に入札したが、アヤラ・グループに敗退。「ベトナムの政治制度や会計システムを把握する必要性を痛感した」（パンギリナン社長）としている。25 日付インクワイアラーが伝えた。

## インド情報

## 【インド - IT】

# インフォシス、名古屋に営業拠点を設置

IT 大手インフォシスは 25 日、東京に続く 2 カ所目の営業拠点を名古屋に設置したと発表した。数十名規模のエンジニアが常駐し、中部地方の製造業を中心にサービスを提供する。東海地方の製造業からの引き合いが増えたことに対応する措置という。

インフォシスのマーケティング担当者は、「2008 年以降、東海地方の自動車関連を中心とする製造業によるアジア進出が増えており、現地での IT システムのメンテナンスの引き合いが増加している」と説明した。

同社のシブラル最高経営責任者（CEO）は、日本事業について「今後も製造業に的を絞って事業展開をしていく」と述べている。

### 海外で買収強化も

またエコノミック・タイムズ（電子版）によると、インフォシスは、数カ月以内をめどに海外での大型買収を計画している。低迷する同社の業績を押し上げる狙いだ。

インフォシスの幹部によると、同社のクンダプール・パマン・カマス

会長が、今月 9 日の年次株主総会後に首脳陣に提案した。同社が保有する 40 億米ドル（約 3,213 億円）の手元資金のうち、最低 10 億米ドルを買収に活用するよう呼びかけた。

この動きについて同幹部は、「首脳陣が保守的なため、説得に時間がかかっている」と述べている。

同社が保有する現金は、IT サービス最大手のタタ・コンサルタンシー・サービスズ（TCS）の 2 倍以上で、年次総会では株主からも大型買収もしくは配当に割り当てるよう要望が出たという。

# 予定

## 26日

### ルネサスが株主総会ほか

#### 【国内】

##### <経済>

- ・5月の企業向けサービス価格指数 (8時50分、日銀)
- ・経済産業省が総合資源エネルギー調査会専門委員会開催 (9時、経済産業省)

##### <企業>

- ・合併する新日本製鉄と住友金属工業が株主総会を開催 (東京都・大阪市)
- ・日本航空、定例社長会見 (16時、日本航空本社)

・モブキャストが東証マザーズに新規上場 (東京都品川区)

- ・日産自動車の株主総会 (10時、パシフィコ横浜)
- ・ルネサスエレクトロニクスが株主総会 (10時、川崎市・玉川ルネッサンスシティホール)

#### 【海外】(現地日程)

- ・米大統領選の共和党候補指名争いでユタ州予備選

情報提供：共同通信

# 人事

## 商工組合中央金庫取締役に辛島氏

#### 会社人事

##### 商工組合中央金庫

(22日)取締役 常務執行役員辛島哲郎、門田光司  
 監査役(預金保険機構検査部長)大森通伸、商工中

金情報システム監査役利重徹 退任 取締役田中千洋、  
 柏木敏宏、監査役白須光美、大橋清

情報提供：共同通信

### 海外に赴任する方へのスーパーマニュアル

# 海外赴任2012 リロケーションガイド



引っ越しから  
 現地での生活まで、  
 この1冊さえあれば  
 一安心♥



今回で**10年目**を迎え、  
 編集を全面的に見直し！  
 体験談やアドバイスを  
 多数掲載！

- A5判 / 並製 / 272頁
- 発行：リロケーション・インターナショナル エヌ・エヌ・エー
- 発売：キョーハンブックス

#### CONTENTS

- 第1章 赴任の手続き  
公的機関・暮らし・お金・赴任後の生活
- 第2章 住宅  
自毛の処分・借家・持ち家・空き家・売却・税金・赴任地での住まい
- 第3章 引越  
タイムスケジュール・準備・荷物の選択・荷造り・発送と受け取り・ペット
- 第4章 健康管理  
赴任前の準備・感染症対策・海外医療事情・海外での出産
- 第5章 子育て・教育  
選択・海外学校事情
- 第6章 赴任地での暮らし  
現地での生活・安全対策・生活に便利な情報・国政選挙・NHKの番組
- 第7章 帰国  
帰国への備え・帰国後の教育
- 附録 データ集  
数字である海外赴任/海外派遣勤務者の職業と生活に関する調査結果/ビザ申請必要書類/在日大使館・領事館/参考書籍/海外赴任サポート企業・団体
- チェックリスト  
赴任前 / 子育て・教育
- タイムチャート  
赴任・引越



**Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ**  
Global Markets Sales & Trading Division  
— B T M U 為替情報 —

三菱東京UFJ銀行  
市場業務部

## 2012 / 6 / 25

### シンガポールドル

先週は 1.26 台後半に上昇して寄りつくも、ギリシャ支援条件緩和に独首相が否定的な発言をしたことやスペイン国債利回りの上昇を受け、1.27 台前半まで反落。一時 1.26 台半ばへ上昇した後、リスク回避の流れが強まると 1.28 近辺まで下げ幅を拡大し、小幅に値を戻して越週した。今週は上昇を予想する。(今週の主な予定) 25 日、消費者物価指数(5 月) 26 日、鉱工業生産(5 月) 29 日、マネーサプライ M2(5 月)

### マレーシアリング

先週は 3.14 台前半へ上昇して寄りついたが、スペイン国債利回りが危険水域を上抜けると反落。加えて一部投資家による米ドル買い戻しを受け、3.19 台前半に続落したのち安値圏で越週した。中国の景気減速も懸念され、今週は安値圏での不安定な相場展開となる。(今週の主な予定) 特になし

### タイバーツ

先週は 31.43 で寄りつき、週前半は高値圏で堅調に推移。週後半に様子見姿勢が強まると 31.5 台へ軟化、その後米ドルの買い戻しや、主要国経済指標の不冴えな内容を受けて安値 31.84 まで続落し安値圏で越週した。今週は安値圏でのみ合い推移を予想。(今週の主な予定) 25 日~26 日、貿易収支(5 月)、輸出(5 月)、輸入(5 月) 29 日、経常収支(5 月)

### インドネシアルピア

先週は 9400 で寄りついたのち、週を通じて方向感に乏しい値動きとなった。過度にリスク許容度が低下した状態は幾分和らぎ、足もとの相場は落ち着きを取り戻しつつあるようだが、ギリシャやスペイン情勢を巡る懸念は依然高い。今週も方向感に乏しくレンジを中心に弱含んで推移するとみている。(今週の主な予定) 特になし

### フィリピンペソ

先週は 42.100 で小高く寄りついた。上伸力に乏しく、42 台前半での小動きに終始した。年初来高値 42.06 をつける局面もあったが、上値は抑えられた。週末にかけては、市場のリスク回避姿勢が強まると下落し、42.420 で越週した。今週は軟調に推移するとみている。(今週の主な予定) 25 日~26 日、財政収支(5 月) 26 日、貿易収支(4 月)、輸入(4 月)

### インドルピー

先週は 55.335 で寄りついた。18 日の金融政策決定会合では政策金利の現状維持が決定。英大手格付機関が同国の格付見直しを引き下げたことも売り材料となり、週末にかけては過去最安値を更新する 57 台を示現し、安値圏で引けた。同国経済の先行き警戒感はまだ高いままだが、23 日にムカジー財務相がルピー防衛策を打ち出すと言及。56 台前半に値を戻している。(今週の主な予定) 30 日、経常収支(Q1)

本資料は、信頼できるとされる各種データに基づき作成しておりますが、当行はその正確性、安全性を保証するものではありません。また本資料はお客様への情報提供のみを目的としたもので、売買の勧誘を目的としたものではありません。投資・売買に関する最終決定はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

	OPEN	CLOSE	騰落率	中銀参考	6 カ月先物	主要金利	株価終値	前週末比
韓国・ウォン	1158.00	1156.80	0.10	1150.10	1168.80	3.3400	1847.39	▲10.77
台湾・ドル	29.935	29.968	▲0.11	—	29.823	0.5130	7222.05	66.22
中国・人民元	6.3600	6.3642	▲0.07	6.3040	6.3805	4.3400	2367.53	▲48.14
香港・ドル	7.7589	7.7614	▲0.03	—	7.7565	0.3100	18995.13	▲238.81
フィリピン・ペソ	42.100	42.420	▲0.76	42.492	42.815	4.1250	5120.07	189.44
シンガポール・ドル	1.2690	1.2757	▲0.53	—	1.2741	0.3229	2828.09	17.09
マレーシア・リング	3.1445	3.1900	▲1.45	—	3.2145	3.0800	1603.07	23.84
タイ・バーツ	31.4300	31.7600	▲1.05	31.6430	32.0550	3.0000	1152.91	▲12.82
インドネシア・ルピア	9400	9505	▲1.12	9502	9740	3.9500	3889.52	71.41
インドルピー	55.3350	57.1250	▲3.23	56.9928	59.1850	8.1250	16972.51	22.68
ベトナム・ドン	20935	20860	0.36	20828	—	5.920	427.17	▲5.92
パキスタン・ルピー	94.080	94.400	▲0.34	—	—	11.560	13730.82	65.02

※週間対ドルレート シンガポール、タイ、香港：オフショア市場レート。その他：当該国内市場レート。

※中銀参考値 前営業日の各国中銀又は公営ブローカー発表レート (Fixingレート)。

※6 カ月先物 フィリピン、韓国、台湾、中国、インド：NDFレート。マレーシア、インドネシア：ワソフ先物レート。その他：ワソフ

※主要金利 シンガポール・マレーシア・香港・韓国：銀行間 1 ヶ月物金利、中国：7 日物レボ金利、その他：翌日物金利。

※株式市場 当該国市場最終取引日の主要株価指数終値。





## 池下讓治さん ジェトロKL所長

### 第466回 海外で日本人を“再発見”(マレーシア)

1954年生まれ、北海道出身。80年に日本貿易振興機構(ジェトロ)に入構し、米ニューヨークや豪シドニーで海外勤務を経験。クアラルンプール(KL)への赴任は今回で2度目となる。経営学修士(MBA)の取得、新潟勤務時代には自らセミナーの講師を勤めるなど行動派で、趣味も野球からバイオリンと幅広い。KLでの暮らしは着任間もないこともあり「仕事と家探して忙殺されている」。

「田舎に帰るか、東京に残るか。どうせ残るならば国際的な仕事をしたい」。1980年にジェトロに入構した池下さんは学生時代、就職活動をしながら「国際的な、日本企業の羅針盤となれるような仕事ができないか」と考えていた。そこで学校推薦を受け選んだのがジェトロ。「ジョージという名前も、親が国際人になってほしいと願ってつけたそうです。それも頭のどこかにあったのかも知れません」。

入構した80年は日米貿易摩擦で揺れていた時代。米国から市場開放の圧力が強く、ジェトロとしても「輸出のために輸入を増やす」という必要に迫られていた。池下さんが最初に配属されたのはその輸入を強化する輸入対策部だった。

輸入はなにも米国だけからではなく、途上国からも含め、日本の貿易収支全体から黒字を縮小するという方針だった。ジェトロでは、発展途上国からその国の“ジェトロ”に当たる輸出促進機関の担当者を受け入れ、日本のマーケットを開拓するサポートを行っていた。池下さんはその海外から派遣された担当者として二人三脚で、日本市場を調査する仕事に就く。

インドネシアの籐(とう)家具、インドやイランのカーペット、チリの海産物などの日本市場への輸入の可能性を、その国の担当者と日本各地を歩き回りながら探った。

「石炭を売りたい」という中国の担当者とは、一緒に三池炭坑(福岡県)の坑内に入り込んだことも。現在の赴任地であるマレーシアからも担当者が訪れ、手工芸品の市場調査をしたが、「夕食に寿司をごちそうしたら、生魚を受け付けず、ごはんだけを食べさせることになった」。

たださまざまな国の担当者と付き合い合うことで、他国の人の考え方に触れ、ジェトロ業務の基礎を養うことができた。

### 日本人を“再発見”

輸入対策部の後、ジェトロ福井に異動。これが契機となり、福井県庁に出向する形で同県初の海外駐在員として米ニューヨークに派遣された。

ニューヨークでは、福井県の主力産業であるめがねを中心に、漆器や越前和紙といった製品の輸出拡大に尽力。そのかわり、同県とニュージャージー州の姉妹提携実現にも奔走した。

姉妹提携はニューヨーク滞在中に覚書(MOU)締結までこぎ着けたが、その過程で日下部太郎(1845~1870)という福井藩最初の留学生としてニュージャージーのラトガース大学に学んだ先人の存在を知った。

日下部は米国人学生に混じりながらずばぬけた成績を残したが、卒業を目前に病のため26歳で早世する。しかし日

下部の指導者だったW.E.グリフィスは彼を通じて日本への興味を強め、1871年に福井県を訪れ藩校で教壇に立つことになった。

この100年以上も前に日米交流の礎を築いた日下部の存在は、池下さんに日本人の底力を感じさせるとともに、「日本人とはなにか」を考えさせる契機にもなった。

先人への興味はニューヨークから豪州に勤務地を変えても尽きない。第二次世界大戦の前後。木曜島の貝採りで、他国の労働者がひるむ中で果敢に海に飛び込み、群を抜く成果を挙げた同胞の潜水土。カウラ捕虜収容所から、自由を手に入れる可能性が低い中で脱走を決行した日本人。こうした歴史を丹念に調べていくうちに、日々の豪州暮らしで「当地で日本人はどこか敬意と脅威がないまぜになった評価を受けている」と感じていたその理由が分かった気がした。



### 新潟で中小企業の海外熱を実感

豪州から帰国後、2010年にジェトロ新潟の所長に就任した。

新潟では勤務した約2年間で80回の海外関連セミナーを開催。自身も20回ほど、講師として新潟企業に海外のビジネス環境を紹介した。セミナーは毎回50~100人が参加する盛況で、地方の、特に中小企業の海外進出熱が高まっているのを肌で感じた。

1991~94年に続いて2度目の勤務となったKL。3月末の着任でまだ3カ月弱と日は浅いが、「道行く人のファッションなど、あきらかに前回赴任時と比べ豊かになった」と感じている。

その豊かさを背景に、これから有望なサービス業で中小企業が進出しやすい環境を整備していきたい考えた。具体的にはハラル(イスラム教徒向け)食品や美容・健康、高度な製造業向けの人材育成の市場がポテンシャルが高いとみる。もちろん、当地でも先人の実績を通じた日本人の考察、またこれまで勤務してきた米国、豪州、マレーシアともに多民族国家ながら人種差別問題などで大きく異なる環境の比較といった文化的関心は失わない。(マレーシア編集部・榊原健)

海外主要市場の商品市況

(Bloombergより作成)

取引所・時間	銘柄	直近値	前日比	取引所・時間	銘柄	単位	直近値	前日比
L M E (25日10時30分)	銅先物	7332.50	22.50	N Y M E X (25日5時30分)	WTI原油先物	バレル	79.16	-0.60
	銅現物	7317.00	-25.50		天然ガス先物	MMBTU	2.69	0.06
	アルミニウム先物	1866.25	4.25		ガソリン先物	ガロン	258.11	1.12
	アルミニウム現物	1824.75	-6.00		灯油先物	ガロン	251.42	-1.95
	すず先物	18610.00	-65.00	C O M E X (25日5時30分)	金先物	オンス	1569.70	2.80
	すず現物	18685.00	-113.00		銀先物	オンス	26.79	0.06
	鉛先物	1812.00	-4.00	S I C O M(25日17時30分)	ゴムRSS 3 先物	キログラム	308.00	5.50
	鉛現物	1798.50	-11.25		小麦先物	ブッシェル	710.50	23.00
	ニッケル先物	16440.00	-135.00	シカゴ (25日18時30分)	大豆先物	ブッシェル	1422.75	47.25
	ニッケル現物	16270.00	-510.00		トウモロコシ先物	ブッシェル	577.75	23.75
	亜鉛先物	1806.25	6.25	ICE(25日5時30分)	砂糖先物	ポンド	19.99	0.24
	亜鉛現物	1795.50	-22.50	日本(25日18時30分)	ナフサ先物	トン	698.50	-9.50
上海 (25日17時30分)	亜鉛先物	14585.00	-135.00	ドバイ(25日13時30分)	ドバイ原油	バレル	89.83	1.58
	金先物	325.07	-4.83	ロンドン(25日10時30分)	北海ブレント	バレル	89.26	-1.11
	鉛先物	14775.00	-140.00	N Y M E X = ニューヨーク・マーカンタイル取引所				
	銅先物	54170.00	-130.00	S I C O M = シンガポール商品取引所				
	銅線先物	4045.00	-44.00	I C E = インターコンチネンタル取引所				
	アルミニウム先物	15550.00	-70.00	括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間				

L M E = ロンドン金属取引所

L M E、上海の単位は上海・金を除き全てトン

上海・金はグラム

限月は L M E 先物が 3 カ月、そのほかは中心限月  
ゴム R S S 先物は米セント  
上記以外はすべて米ドル

為替クロスレート 2012/6/25 19:00 JST

通貨\コード	JPY	USD	EUR	GBP	CNY	HKD	TWD	KRW	THB	VND	MYR	SGD	IDR	PHP	INR	AUD	NZD
日本円		0.0125	0.0099	0.0080	0.0797	0.0972	0.3752	14.5581	0.3989	261.952	0.0400	0.0161	118.218	0.5345	0.7119	0.0125	0.0159
米ドル	79.8590		0.7955	0.6414	6.3644	7.7595	29.9625	1162.45	31.8500	20917.5	3.1975	1.2821	9440.00	42.6800	56.8550	0.9987	1.2700
ユーロ	101.071	1.2571		0.8063	8.0005	9.7543	37.6651	1461.29	40.0379	26294.9	4.0195	1.6117	11866.8	53.6520	71.4710	1.2555	1.5965
英国ポンド	125.383	1.5591	1.2402		9.9224	12.0975	46.7131	1812.32	49.6558	32611.4	4.9851	1.9989	14717.4	66.5403	88.6398	1.5571	1.9800
中国人民元	12.5467	0.1571	0.1250	0.1008		1.2192	4.7078	182.649	5.0044	3286.64	0.5024	0.2015	1483.25	6.7061	8.9333	0.1569	0.1995
香港ドル	10.2901	0.1289	0.1025	0.0827	0.8202		3.8614	149.810	4.1046	2695.72	0.4121	0.1652	1216.57	5.5003	7.3271	0.1287	0.1637
台湾ドル	2.6649	0.0334	0.0265	0.0214	0.2124	0.2590		38.7968	1.0630	698.123	0.1067	0.0428	315.060	1.4244	1.8975	0.0333	0.0424
韓国ウォン	0.0687	0.0009	0.0007	0.0006	0.0055	0.0067	0.0258		0.0274	17.9943	0.0028	0.0011	8.1208	0.0367	0.0489	0.0009	0.0011
タイバツ	2.5071	0.0314	0.0250	0.0201	0.1998	0.2436	0.9407	36.4976		656.750	0.1004	0.0403	296.389	1.3400	1.7851	0.0314	0.0399
ペタムドン	0.0038	0.00005	0.00004	0.00003	0.00030	0.00037	0.0014	0.056	0.0015		0.0002	0.0001	0.4513	0.0020	0.0027	0.00005	0.0001
マレーシアリンギ	24.9719	0.3127	0.2488	0.2006	1.9904	2.4267	9.3706	363.550	9.9609	6541.83		0.4010	2952.31	13.3479	17.7811	0.3123	0.3972
シンガポールドル	62.2830	0.7800	0.6204	0.5003	4.9639	6.0520	23.3693	906.655	24.8415	16314.6	2.4939		7362.75	33.2884	44.3442	0.7790	0.9905
インドネシアルピア	0.0085	0.00011	0.00008	0.00007	0.00067	0.00082	0.0032	0.1231	0.0034	2.2158	0.0003	0.0001		0.0045	0.0060	0.0001	0.0001
フィリピンペソ	1.8710	0.0234	0.0186	0.0150	0.1491	0.1818	0.7020	27.2364	0.7463	490.101	0.0749	0.0300	221.181		1.3321	0.0234	0.0298
オーストラリアドル	1.4046	0.0176	0.0140	0.0113	0.1119	0.1365	0.5270	20.446	0.5602	367.910	0.0562	0.0226	166.04	0.7507		0.0176	0.0223
ニュージーランドドル	79.9390	1.0013	0.7965	0.6422	6.3725	7.7694	30.0006	1163.93	31.8905	20944.1	3.2016	1.2838	9451.99	42.7342	56.9272		1.2716
	62.8838	0.7874	0.6264	0.5051	5.0113	6.1099	23.5925	915.315	25.0787	16470.5	2.5177	1.0096	7433.07	33.6063	44.7677	0.7864	

**NNA は、メディア事業を通じて、グローバルビジネスにかかわるすべての人と企業に貢献します。**

■NNA グループ

【東京本社】株式会社エヌ・エヌ・イー / TEL : 81-3-6218-4330  
 【北九州】株式会社エヌ・エヌ・イー / TEL : 81-93-513-1570  
 【香港】NNA HONG KONG CO., LTD. / TEL : 852-2802-6303  
 【台湾】香港商亞洲情報網有限公司台湾分公司 / TEL : 886-2-2521-3070  
 【中国・上海】上海時迅商務諮詢有限公司 / TEL : 86-21-6295-5123  
 【中国・北京支社】上海時迅商務諮詢有限公司 北京分公司 / TEL : 86-10-8512-0918  
 【中国・広州支社】上海時迅商務諮詢有限公司 広州分公司 / TEL : 86-20-8775-5008  
 【中国・大連事務所】上海時迅商務諮詢有限公司 大連連絡処 / TEL : 86-411-8231-2299  
 【シンガポール】NNA SINGAPORE PTE. LTD. / TEL : 65-6738-3333

【タイ】NNA (THAILAND) CO., LTD. / TEL : 66-2-274-0346  
 【マレーシア】NNA (MALAYSIA) SDN. BHD. / TEL : 60-3-2163-6226  
 【インドネシア】PT. NNA INDONESIA / TEL : 62-21-520-1423  
 【フィリピン】NNA PHILIPPINES CO., INC. / TEL : 63-2-753-3515

■提携会社

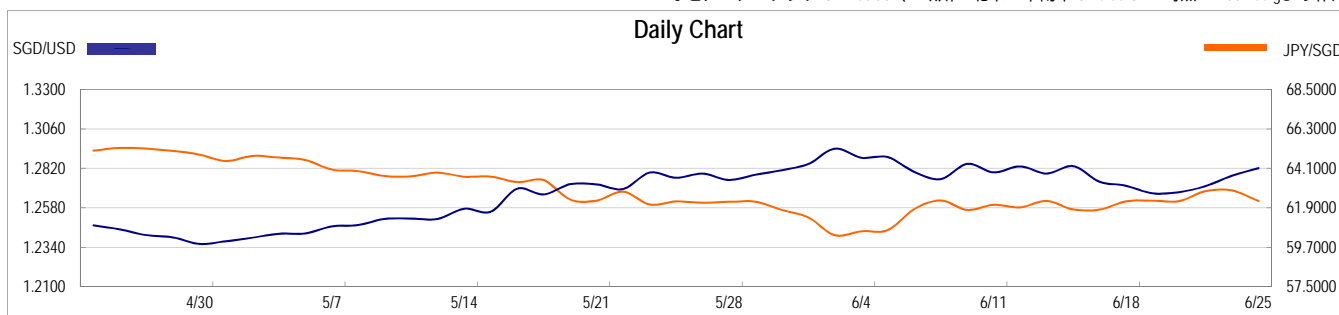
【韓国】NNA KOREA CORP., LTD. / TEL : 82-2-730-6131  
 【オーストラリア】NNA AUSTRALIA PTY. LTD. / TEL : 61-2-9264-0998  
 【英国】Economic Media Bulletin Limited (EMB) / TEL : 44-20-7064-0600



# マーケット情報 為替と株式

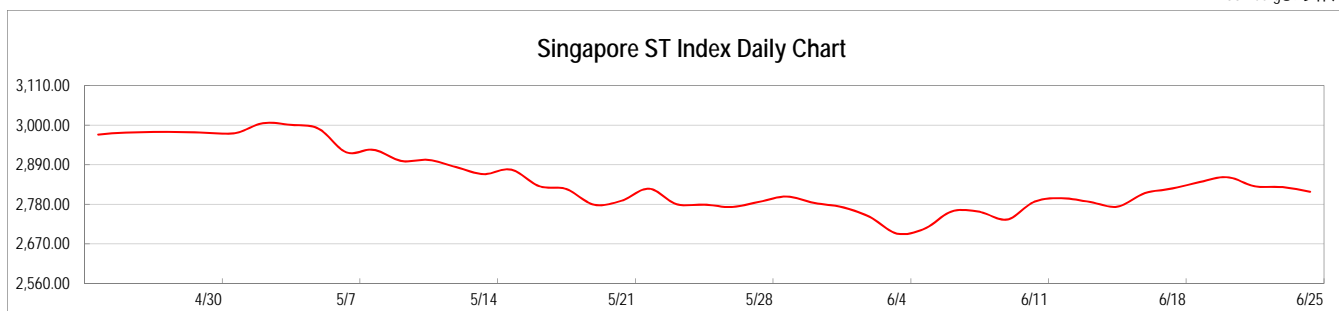
為替											
地域	現地通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR	地域	通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR
オセアニア	ニュージーランドドル	25日	62.8838	1.2700	1.5855	アジア	ベトナムドン	25日	0.003817	20,917.50	26,115.59
	オーストラリアドル	25日	79.9390	0.9987	1.2471		欧州	ユーロ	22日	101.0710	0.7955
アジア	日本円	25日	1.0000	79.859	99.697	英国ポンド		22日	125.3830	0.6414	0.8063
	韓国ウォン	25日	0.06869	1,162.450	1,451.377	スイスフラン		22日	84.1918	0.9560	1.2004
	中国人民元	25日	12.5467	6.3644	7.9461	デンマーククローネ		22日	13.6024	5.9176	7.43348
	香港ドル	25日	10.2901	7.7595	9.6878	ロシアルーブル		22日	2.4282	33.2368	41.6381
	台湾ドル	25日	2.6649	29.9625	37.4123	ハンガリーフォリント		22日	0.3517	228.9960	287.4320
	フィリピンペソ	25日	1.8710	42.6800	53.2881	ポーランドズロチ		22日	23.6613	3.4006	4.2747
	シンガポールドル	25日	62.2830	1.2821	1.6008	チェココルナ		22日	3.9223	20.5000	25.7766
	マレーシアリンギ	25日	24.9719	3.1975	3.9924	スウェーデンクローナ		22日	11.4770	7.0120	8.8097
	タイバーツ	25日	2.5071	31.8500	39.765	北米		米ドル	22日	80.4370	1.0000
	インドネシアルピア	25日	0.008459	9,440.00	11,785.88		カナダドル	22日	78.4954	1.0264	1.2903
インドルピー	25日	1.4046	56.8550	70.9772	中南米	メキシコペソ	22日	5.8037	13.8580	17.4193	

オセアニア・アジア：19:00 JST、欧州・北米・中南米：16:00 GMT 時点 Bloombergより作成



株式													
地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比
オセアニア	ウェリントン	NZSX50	25日	3,401.13	1.93	113.01	アジア	ジャカルタ	JSX	25日	3,857.59	-31.93	48.45
	シドニー	ASX	25日	4,072.00	-21.80	-83.20		マニラ	Composite PSE	25日	5,167.20	47.13	770.12
アジア	東京	日経平均	25日	8,734.62	-63.73	174.51	ホーチミン	ベトナム株価指数	25日	424.12	-3.05	74.12	
		TOPIX	25日	745.22	-5.70	2.23	ムンバイ	SENSEX30	22日	16,972.51	-60.05	1,454.59	
		JASDAQ	25日	50.81	-0.32	2.48	欧州	ロンドン	FTSE 100	22日	5,513.69	-52.67	-186.22
	ソウル	総合	25日	1,825.38	-22.01	-0.99		フランクフルト	DAX	22日	6,263.25	-79.88	187.73
		KOSDAQ	25日	484.44	-0.75	-22.35		パリ	CAC40	22日	3,090.90	-23.32	-131.40
	上海	B株	25日	238.28	-3.03	26.19		アムステルダム	AEX	22日	298.76	-2.88	-18.06
	深セン	B株	25日	625.05	-11.80	65.77		ミラノ	FTSEMIB	22日	13,662.80	-88.83	-1,791.82
	香港	ハンセン	25日	18,897.45	-97.68	20.04		マドリード	IBEX35	22日	6,876.30	102.80	-1,847.50
		ハンセンH	25日	9,364.03	-140.16	-871.14		ブリュッセル	BEL20	22日	2,126.37	-16.72	12.05
	台北	加権	25日	7,166.38	-55.67	214.17		チューリヒ	SMI	22日	5,989.33	-22.86	-61.60
シンガポール	ST指数	25日	2,815.26	-12.83	126.90	北米		ニューヨーク	ダウ	22日	12,640.78	67.21	198.78
クアラルンプール	KLSE総合	25日	1,603.12	0.05	89.58				NASDAQ	22日	2,892.42	33.33	237.91
バンコク	SET	25日	1,147.43	-5.48	111.22		トロント	トロント300	22日	11,435.54	27.22	-675.41	

Bloombergより作成





## フィリピン

当地の知り合いに日本に一時帰国する旨を伝えると、決まって「お土産のチョコレートを忘れないでね」と念を押される。アーモンドやマカダミアナッツが入ったものが特に人気で、フィリピンでも売っている点を指摘すると、必ず「日本のチョコが一番おいしいから」と返される。

一方、フィリピンからのお土産はドライマンゴーが定番。今回の帰国の際も持ち帰ったところ、中学生のめいっ子に「何でチョコを買ってきてくれないの?」と不満を述べられた。聞けば海外のチョコは日本製と風味が異なり、時々無性に食べたくなるという。

好き嫌いをしないことを信条としているが、唯一苦手な食べ物にチョコがある。そのため、双方のチョコを食べ比べたことはなく、一体どちらがおいしいのか謎は深まるばかりだが、「日比間のお土産はチョコが手堅い」ということは間違いないさそうだ。(中)

## タイ

24 日の深夜、というか 25 日の未明、「ウオー」という叫び声が響いた。叫び声は近所の数カ所から上がっている。喜んでいるような叫びと嘆いているような叫びが入り交じっている。いったい何が起きたのか。寝ぼけた頭で考えた。叫び声の後には拍手が続いた。

タクシン元首相支持派団体・反独裁民主戦線(UDD)が 24 日にバンコクの民主記念塔で集会を行っていたはずだ。それと関係があるのだろうかなどと考えたが、しばらくして、サッカー欧州選手権の試合中継があったことを思い出した。準々決勝のイングランド対イタリアの試合が行われていたのだった。

決勝戦はタイ時間の 7 月 2 日午前 1 時 45 分に開始される。それまで、バンコク都内でいくつかの政治集会が行われる予定だが、もう叫び声に驚かされることはないだろう。でも、かなりうるさい。(K)

## マレーシア

マレー料理屋に行くときよく並んでいる生の野菜。サンバルと呼ばれるピリ辛い調味料をつけて食べるのだが、これがなかなかおいしくて最近よく選んでいる。輪ゴムで小さな束にまとめられており、これを皆、手でむしり取るようにして食べている。

見た目は野菜というより野草に近いものもあり、ミントやバジルなどのハーブ類から日本では目にしたことがない雑草のようなものも多い。何度か試しているうちに「これはよいにおいがする」「これは苦くて食べづらい」などが分かってきた。お気に入りにはセリのようなもの、痛風の薬の原料にもなっているとも聞いた。

日本でもキュウリなどの野菜をみそなどに付けて食べるが、何となくそれに近い。ココナツ風味や揚げ物など、少ししつこい味付けが多いマレー料理の合間に食べるとすっきりするので気に入っている。(玖)



海を越え、都市をつないで、

NNAからアジアの今を



## 中国

上海人男性が家庭的で優しいというのは有名な話だ。一概に皆がそうとは言えないものの、今年に入って結婚したばかりの友人のご主人はとにかく典型的な上海人男性。共働きだったのだが、友人は台所に立ったことがないほどだ。

そんな 2 人に子どもができた。彼女のお腹が目立ち始めたころ、ご主人は仕事を辞めた。連日の残業で体がもたないと感じたからだというが、もう一つの大きな理由が子どもの世話をするため。つまりご主人が「主夫」になるというのだ。

そんなご主人は「働いていたときより忙しい」と笑う。家事をすべてこなし、夜には妊娠線ができないようにと予防クリームをお腹に塗ってくれるという。

うらやましいとしきりに嘆いていると、「尽くしすぎると有難味を分かしてもらえない」とぼそり。その言葉に共感しつつ、彼と一緒に何度もうなずいた。(磊)

## 香港

香港中文大学で教鞭をとるため、1997～98 年にかけて香港に滞在した。その間、縁あって同世代の男性と知り合い、家族ぐるみで付き合う仲となった。しかし香港を離れた後、男性は不治の病で亡くなった。大切な人のいない香港。複雑な心境ではあったが、運命のいたずらから、昨年 10 月から再び香港で働くこととなる。

物語の主人公は、台湾の小説家で香港台北経済文化弁事処新聞組のトップ、張曼娟さん。50 歳を過ぎても独身のため「剩女」と言われることが多いが、彼女にも人知れぬ過去がある。そんな彼女が着任からわずか 9 カ月で香港を離れることとなった。

「悔いはない」と晴れ晴れとした表情で語るが、本心は。香港、そして今は亡き男性への思いとは、個人的にもまだまだ聞きたいことが山ほどある。このタイミングで台湾に帰ってしまうのは惜しい。(ゆ)

## 台湾

どこか日本語に似た、スタッカートの効いた言葉が夜市に響く。カメラを抱えた一団が話しているのは上海語。中国から取材に来たテレビ局らしい。

先週末、数カ月ぶりに訪れた上海市では「故宮博物院と夜市を巡る」「台北・高雄ぶらり旅」など台湾ツアーの広告がやたら目に付いた。渡航の方法や観光地への生き方を取り上げる雑誌も増えている。誇り高い上海市民の間には「今では上海のほうがずっと魅力的」と下に見る向きもあるものの、「宝島」が新たな旅行先として定着しつつあることは確か。対岸は思った以上に近くなっていた。

周囲からの好奇の視線をよそに、上海語を操るクルーの取材は進む。うれしそうに取材に応じる屋台。上海人のプライドの垣根を跳び越えた、純粋に台湾の良さを伝える番組であってほしい。(潮)

The Daily NNA

トライアル受付中!

食品・医薬ニュース